

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報



年末年始号



12月のこよみ

(大) 師走 (しわす)

すべてのことを「為果す」月。

22日 【冬至】一年で最も昼が短い

23日 【天皇誕生日】

31日 【年越し】

1月のこよみ

(大) 睦月 (むづき)

むつみあう、つましくするという意味で、すべてのものが気持ちを寄せ合って新しい年を迎える月。

1日 【元 旦】年賀・初詣

5日 【小 寒】寒気がだんだん強くなる

7日 【七 草】七草を入れたお粥を食べる

11日 【鏡開き】お供えした鏡モチを割って食べる

12日 【成人式】

20日 【大 寒】ひどく寒いとき



12月の行事予定

- 1日 資材店舗 棚卸し
月形花き生産組合反省会
- 5日 月形ミニトマト生産組合反省会
- 26日 第11回理事会
- 30日 業務納め



1月の行事予定

- 6日 役職員新年交礼会
- 23日 第12回理事会

URL:<http://www.hamanasu.to/ja-moon>



新年のご挨拶

代表理事組合長

水口裕行

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、希望に満ちた平成二十七年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当JAの事業運営に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は四月前半の低気圧の影響により気温も低く推移しましたが、融雪も進み四月後半以降は好天し、播種・定植など良好なスタートとなりました。

その後、五月の小雨、六月中旬には長雨による日照不足、九月には豪雨に見舞われ農作業に影響が出たものの、農作物全般に亘り生育は順調に推移しました。

主要作物である水稻については、肥培管理や防除対策など基本技術を徹底した結果、作況指數は南空知一〇八と五年続けての豊作となりましたが、総もみ数が平年より

小麦は雪腐病による被害も少なく収量・品質とも平年並みとなり、大豆については適期に播種され生育もおむね良好で、その後の生育も順調に進みましたが、九月中旬の低温による葉の黄葉が早まり、収穫作業が平年より早く終了し収量も平年を確保できました。

また、直宗治元組合長が昨年十一月七日にご逝去されました。組

花きについては、前半は低価格推移でありましたが、その後相場は回復し平均単価も上昇し前年並みの販売取扱高となりました。果菜類については、作付面積の減少などもあり取扱量は減少したものの、ケース平均単価の上昇により前年並みの販売取扱高となりました。

多か二たことに加え、登熟後半の低温・日照不足により、青米など未熟粒が平年より多い傾向となり、米の供給過多などの影響により低米価となりました。

花きについては、前半は低価格推移でありましたが、その後相場は回復し平均単価も上昇し前年並みの販売取扱高となりました。

一方、農業を取り巻く環境は、日本の将来に関する重要課題であるＴＰＰ農業交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明且つ予断を許さない情勢にあります。農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制撤廃を通じ、国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であることの認識に立ち、改めて国会決議の遵守を強く求めしていく必要性があります。

合長として昭和五十三年より激動の年月を堪え忍び、約二十五年間トップとして天性の才能と剛気不屈の精神、それに人間味豊かな性格を以て月形町農業の発展に力量を發揮されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈り致します。

規制改革会議では、農業の競争力強化を実現させる目的のもと、企業の農業経営や農業関連事業への参入促進を図るべく、平成二十六年五月「農業改革に関する意見」を発表し、全農・ホクレンの株式会社化や中央会制度の廃止などを提起しました。その後、皆様よりJAグループ北海道改革プラン(たき台)へのご意見を沢山頂き集約した組織討議資料を基に全国段

しての復讐を果たすべく復職員一
体となつて努力して参りますので
ご協力をお願ひ致します。

最後に、組合員・ご家族のご健
勝とご多幸を心よりご祈念申し上
げ、平成二十七年が良い年であり
ますよう新年にあたつてのご挨拶
と致します。

代表理事組合長 水口裕行
常務理事事務部 阿瀬瀬村
理理事事務部 伊藤平中中嶋本
事理事事務部 伊柳尾條秀雅博
監理理事事務部 外監事事務部
代理理事事務部 員監事事務部

階と擦り合わせをしながら、政府との全国レベルの議論・交渉が大詰めを迎えており、双方の見解相違などでの応酬が続いております。JAは地域の命綱であり農業・JAの自己改革は農業者自らの意志で行うものであり、農家の所得向上対策が一番大切であるとともに早急に示すべき内容であり、政府には農家目線に立った認識をしてもらう必要があります。

今後の展開如何によつては非常に厳しい状況にありますが、JAとしての役割を果たすべく役職員一體となつて努力して参りますのでご協力をお願ひ致します。

最後に、組合員・ご家族のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、平成二十七年が良い年でありますよう新年にあたつてのご挨拶と致します。

新年にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章

平成二十七年の年頭にあたり

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていました。これに対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成二十六年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施され、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国のお首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取組みを開催して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成二十六年六月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全

道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自國で賄うべきは、國家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国

農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を積極的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない

道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自國で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国

農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を積極的に進めしていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない

道の組合員に参加いたいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自國で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国

農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を積極的に進めしていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない

各生産組合 平成26年度出荷反省会

11月21日に月形蔬菜生産組合、12月1日に月形花き生産組合、12月5日に月形ミニトマト生産組合の出荷反省会がそれぞれ生産者を集め行われました。反省会では、JA担当者による本年度の出荷状況や販売額などの報告に続き、現状を踏まえたうえで、今後の方向性など次年度に向けた意見交換が生産者、市場関係者、当農協職員にて行われました。



月形蔬菜生産組合



月形花き生産組合



月形ミニトマト生産組合

女性部の記事

J A月形町女性部（青柳千恵部長）は11月20日、部員9名参加のもと日帰り研修旅行を実施されました。

今年度の研修旅行は江別市へ赴き、風の村陶芸工房『アトリエ工陶』にて陶芸を体験した後、同市のこだわりカフェ『北海道鳥賓珈琲館』にて、情報交換を兼ねた交流会を行われました。

この度陶芸体験をされた『アトリエ工陶』では薬品を一切使用せず、由緒ある煉瓦の原料を粘土に混ぜた特殊な粘土『野幌粘土』を使用して陶器制作を体験することが出来、普段体験することのできない特別な粘土を使用して作る世界に一つだけの特別な陶器は参加された方々にとっての特別なものになることでしょう。



Photo News

○月形町和牛振興協議会 講習会実施 (11月19日)



○当農協青年部 第2回農薬容器回収実施 (10月31日)



○消防訓練上映会 (10月31日)



空知農民連合委員長・副委員長研修に関する報告

平成26年度委員長・副委員長研修が11月5日から8日の3泊4日で36名の参加で行われました。

この度の研修は鹿児島県で耕畜連携による飼料稻・飼料作物栽培等に取り組んでいる協議会担当者との意見交換や現場の視察を行うため「東串良町農業再生協議会」を訪れました。

今回研修させて頂く水田活用に於ける耕畜連携への取り組みに至る経緯として、平成12年の中国産稻わらを原因とする口蹄疫が宮崎県で発生したことから、国産稻わらの確保の必要性が高まり WCS(稻発酵粗飼料=ホールクロップサイレージ) 用稻を60 a 作付けしたことが始まりで、その後水田活用の直接支払交付金が推進力となり水田輪作の転作作物として生産に取り組まれてきた結果、平成16年度に24.91 ha だった作付けが平成25年度には257.26 ha にまで拡大しました。しかし、作付面積の増加とは裏腹に牛の飼育頭数が減少傾向にあるため町内では供給過剰となり、町外も視野に需要拡大に向けた取り組みを進めているとのことで、WCS 用稻の作付け品種として8月末から9月上旬に収穫された5種類のサンプルを見せて頂きました。

次に意見交換に移り、『基本個人営農であり収穫・供給するために生産組合を立ち上げ取り組んでいる。』『主食用米との棲み分けはコンタミ防止の観点から徹底した管理と指導でこなしているが揚水機場が古く水回りで問題が起きている。』『作付け品種については、当初「モーれつ」を栽培していたが脱粒がひどく「ミナミユタカ」に切り替えたのだが8万円の補助金と作付けの拡大から宮崎県から種子の購入ができるなくなり「タチアオバ」に切り替わっていった。今年から試験的に「タチスズカ」を導入している。』『飼料用米については個人の肥育農家が1.6 haほど栽培している。独自にブレンドしたものを牛に与えている。』『直播については技術体系が確立されていない観点から認められてはいない。捨てづくりと見なされるものがあったため補助金対象とはしなかった。補助金8万円に見合ったものでならないと考えている。またジャンボタニシの被害もあり交付対象から外されてしまった水田もあった。』『空知では輸送コストが問題となるが、東串良町では輸送範囲が20分程度で済める。』『1反の収量は1,000kgから1,200 kg、水分は15%とし単価は輸送費込みで37円。』『いもちに対してはほぼ発生しないため特に対策は無い。主食用米の航空防除をしているためその分だけ掛かってしまう。』『飼料用米の作付けを行うための経費を考えると、検討はするが WCS を推進していく。』等様々な分野に於ける情報交換等が行われました。

意見交換終了後、現地視察を行う予定でしたが小雨が降り大型バスで向かうには道が狭すぎることで、急遽肉用牛の肥育農家へお願いして、牛の品評会場にWCS用稻を2ロール搬入して頂きました。一つは通常の刈り取り、乾燥、巻きの作業工程、もう一つは専用の刈り取り機(1,200万円)でロールにされたものでした。こちらの方がやや小さく若干変形しやすいものの、通常のものより土などの混入が少ないのが良いとのことでした。

専用機は雨が降る直前まで作業ができるから水分含量も勘案しながら作業ができ、発酵促進できる利点もあるとのことでした。



職員退職挨拶

岩田 直也 業務部農産販売課農産園芸係（平成23年4月入組）



この度、12月末を以て一身上の都合により退職させて頂くこととなりました。3年9ヶ月という短い間ではありましたが、組合員の皆様をはじめ、役職員の方々には公私に渡り大変お世話になりました、心よりお礼申し上げます。

在職中は至らぬ点も多く、ご迷惑をお掛けしたことも多々あったかと存じますが、温かいご指導・ご鞭撻を賜り、職務を支えて頂けたことに感謝の気持ちで一杯です。

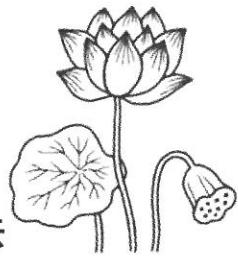
最後になりますが、大変お世話になりました皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、来年も良い年を迎えることを重ねてご祈念申し上げ、挨拶とさせて頂きます。誠に有難うございました。



訃報

直 宗 治

月形町農業協同組合 元代表理事組合長ご逝去



平成 26 年 11 月 7 日逝去された直 宗治元代表理事組合長（行年 81 歳）の葬儀が 11 月 11 日 月形町多目的研修センターに於いてしめやかに執り行われ、その功績を偲び多くの参列者が葬儀に訪れました。

天性の才能と剛気不屈の精神、それに入間味豊かな性格をもって月形町農業協同組合の組合長を昭和 53 年より激動の年月を耐え忍び、約 25 年間トップとして月形町農業発展に力量を発揮されました。

月形町議会議長・北海道農協中央会副会長・北海道農業公社副理事長など数々の公職を歴任し活躍と業績は北海道農業界の歴史として我々の心の中にも残り、後世にも引き継がれる事でしょう。

退任後もご意見番として農協経営に対し助言を頂いておりましたが、逝去は大変残念に思うとともに、故人の意を引き継ぎ組合員・役職員が一丸となり更なる月形町農業発展のため邁進して参ります。

以下、故 直 宗治 さまのご冥福を祈り、これまでの活躍した各農業界などの足跡を下記のとおり掲載します。

また、直 浩亨様より生前父が長年にわたり農協にお世話になり、葬儀の際にもお手伝いなどして頂いたお礼として寄付金をいただきました。
ご厚意に対し感謝とお礼を申し上げるとともに、組合員の為に大切に使わせていただきます。

＜主な農業団体歴など＞

月形町農業協同組合青年部 々	副部長 部長	昭和 36 年 1 月 ~ 昭和 37 年 1 月 昭和 37 年 1 月 ~ 昭和 40 年 1 月
空知管内農協青年部連合会 々 々	理事 副会長 会長	昭和 40 年 1 月 ~ 昭和 42 年 1 月 昭和 42 年 3 月 ~ 昭和 44 年 3 月 昭和 44 年 1 月 ~ 昭和 45 年 1 月
北海道農協青年部協議会 々	副会長 会長	昭和 45 年 3 月 ~ 昭和 46 年 3 月 昭和 46 年 3 月 ~ 昭和 47 年 3 月
月形町農民連盟 々	書記長 委員長	昭和 44 年 3 月 ~ 昭和 49 年 3 月 昭和 49 年 3 月 ~ 昭和 53 年 3 月
月形土地改良区	理事	昭和 50 年 3 月 ~ 昭和 54 年 3 月
月形町農業協同組合	組合長	昭和 53 年 5 月 ~ 平成 14 年 3 月
月形町議会 々 々	議員 副議長 議長	昭和 46 年 5 月 ~ 平成 6 年 9 月 昭和 50 年 5 月 ~ 昭和 55 年 5 月 平成 3 年 5 月 ~ 平成 5 年 5 月
空知農業協同組合連合会 々 々	理事 副会長 会長	昭和 56 年 6 月 ~ 平成 2 年 6 月 平成 2 年 6 月 ~ 平成 5 年 6 月 平成 5 年 6 月 ~ 平成 6 年 9 月
北海道信用農業協同組合連合会	監事	平成 1 年 6 月 ~ 平成 5 年 6 月
北海道農業協同組合中央会 (一般財団法人) 北海道農業協同組合学校 々	副会長 理事 副理事長	平成 6 年 8 月 ~ 平成 11 年 6 月 平成 5 年 6 月 ~ 平成 6 年 8 月 平成 6 年 8 月 ~ 平成 11 年 9 月
(財団法人) 北海道報徳社 々	理事 副社長理事	平成 5 年 6 月 ~ 平成 6 年 8 月 平成 6 年 8 月 ~ 平成 11 年 9 月
(公益財団法人) 北海道農業公社	副理事長 ほか	平成 11 年 6 月 ~ 平成 14 年 6 月

＜受 賞＞

空知町村議会議長会表彰 々	(永年功労) (副議長永年功労)	昭和 54 年 10 月 昭和 54 年 10 月
北海道町村議会議長会表彰	(永年功労)	昭和 61 年 6 月
全国町村議会議長会表彰	(永年功労)	昭和 62 年 2 月
月形刑務所長表彰	(篤志面接功労)	平成 3 年 5 月
月形町 町長表彰	(自治功労)	平成 4 年 11 月
空知町村議会議長会	(永年功労)	平成 5 年 6 月
札幌矯正管区長表彰	(篤志面接功労)	平成 5 年 7 月
月形町 町長表彰	(自治功労)	平成 5 年 11 月
北海道農業協同組合中央会会长表彰	(農協功労)	平成 6 年 3 月
北海道知事表彰	(産業貢献賞・農業功労)	平成 7 年 3 月



理事会だより

第十回 理事会議案 (十一月二十六日開催)

付議第二号 平成二十七年度対策組合員の対応方針（案）について

付議第二号 農地流動化特別対策資金の貸付について

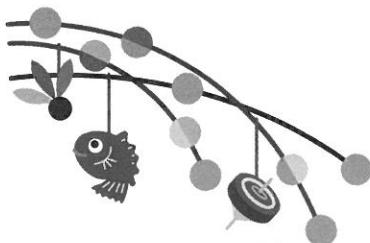
付議第三号 平成二十七年度要員計画（職員採用）について

外語第三回

こんにちは農民連盟

-11月-

- | | | |
|------|------------------|-------------|
| 5～8日 | 委員長・副委員長研修 | 委員長 |
| 6日 | 白川祥二道議會議員候補來訪 | 副委員長・書記長・次長 |
| 10日 | 白川祥二そらち後援会事務所開所式 | 委員長 |
| | 月形町農協元代表理事組合長 | |
| | 直宗治氏葬儀参列 | 副委員長 |
| 11日 | 月形町農協元代表理事組合長 | |
| | 直宗治氏葬儀参列 | 委員長 |
| 21日 | 税担当者会議 | 四役 |
| | 五単組委員長・副委員長会議 | |
| | | 四役 |
| | 五単組書記長・書記次長会議 | |
| | | 四役 |
| 27日 | 中間監査 | 監事・常任委員 |
| | 常任委員会 | 監事・常任委員 |
| | 役員研修旅行 | 監事・常任委員 |



について

組合員の動向について

報告第二号 平成二十六年十月未現 在財務状況について

報告第三号 平成二十六年十月未現 在事業計画・実績対比について

報告第四号 農業者戸別所得補償制度に係る仮渡金実施要領第四条対応

報告第五号 平成二十六年産米・大豆

長長長設

副委員長
理事組合
委員長
四行會
委員長會議
四行會
記次長會議
四行會
事・常任委員
事・常任委員

販売状況について

(十一月末) 購買品現品棚卸しの実施に

ついて

(株)エーコープつきがた からのお知らせ

新企画 ほくほくデー

平成26年12月より60歳以上の方に限り、店頭にて会員カードをお作り頂き、レジ精算前にご提示頂けるだけで毎月5日、15日、25日限定で一部の商品を除いた店内商品が5%OFFでご購入頂けます。(対象外商品についてはカード裏面に記載)

詳しくは(株)エーコープつきがた店までお気軽にお問い合わせください。

10126-37-2121 (直通)



振り返つて(広報誌より)

2月

各講習会 実施



メロン・トマト栽培講習会



月形町和牛振興協議会講習会

1月

各生産組合 通常総会



月形花き生産組合



月形蔬菜生産組合

4月

第65回JA月形町
通常総会



会場 多目的研修センター

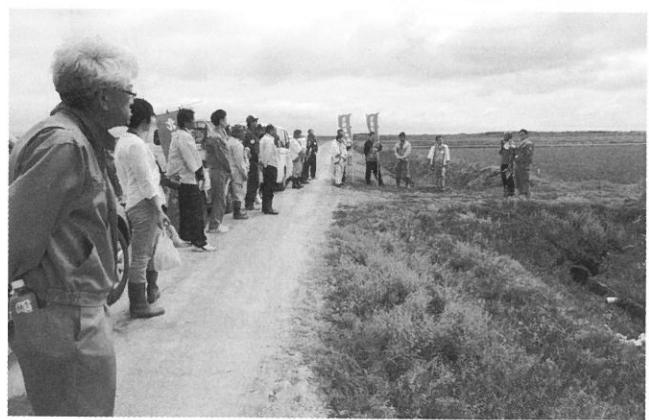


会場 つきあえ~る



6月

水稻現地キャラバン



5月

北海カンロ、花き初出荷



横井 広実 氏



(有)後藤農園 氏

どうぞ輝かしい新春を JA共済・JAバンクと共に迎えてみてはいかがでしょうか。
みなさまのご来店をお待ち申し上げております。

平成26年を

8月 つきがた夏まつり



会場 月形温泉ホテル前



7月 JA月形町青年部
ホクレンとの意見交換会



当JA大会議室

10月 大豆 収穫作業スタート



(株)黒宮農園



9月 ホクレンとの意見交換会
『一日ホクレン』



会場 月形温泉ホテル

12月 JA月形町女性部 研修旅行



陶芸風景



集合写真

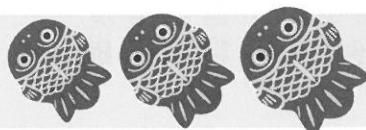
11月 月形蔬菜生産組合
出荷反省会



会場 月形温泉ホテル

J A月形町共済窓口（電話 53-3421）

J A月形町貯金窓口（電話 53-3422）



卷之三

本年も役職員一同よろしくお願い申し上げます。



加賀

新

年

代表理事組合長

水口裕行

金
融
部
<

農產園芸係

員監代理理理常專
外表務務
監監理理
事事事事事事事事
伊柳平中中中山村阿
藤尾條嶋本瀨部
隆彰元秀雅博憲
之憲一雄義幸昇二

總務係	佐藤 隆之
總務係(出納)	山岡 里美
總務係(庶務)	山崎 紵理
阿部 汐里	土井 真夕美
青野 功	桶谷 智子

監査室長宮崎尚幸

業務部

兼融資
(貯金)
(共済)

農業部長	(兼) 営農推進課長	植松
農產販賣課長	(兼) 糜麥係長	西堀
營農推進係長	小川	和
營農推進係	伊藤	然
農園芸係長	川	愉生江
松	真	彰
松	時	
松	守	

米
麥
系
倉
(工房
庫)

上加本石藤戸佐加笠稻佐伊河青山辻 三横山石百横
葛勢間綿原田藤藤間垣藤藤原柳本 枝田田澤澤道
雅彩直裕直侑武登幸幸英圭芳克良裕 良竜和奈俊竜
史香也彦人斗美江雄一直二一彦一哉 弥平代菜祐司

(農協青年部)

監 代 副 部
表 部
監 長

事 長
田 福 中 青
畠 井 村 柳
弘 百 合 子
恵 三 賀 子
千 恵



參 監 代 副 部
農 政 理 會 計 部
理 部 長

事 長
池 永 川 残
上 井 村 間
公 祐 尚
大 樹 和 保
之 樹 彰 之

監 代 副 組 部
事 事 組 合
長 長 長

書記会計(兼)ユリ部会長
副組合長(兼)スター・チス部会長
書記会計(兼)カーネーション部会長
デルフィニウム部会長
監 事
草 花 部 会 長

農 稅 書記 委員
政 次 長 長
對 長 長

常 松 青 石 渡 直 斎 河 我 金 田
本 柳 森 木 田 岩 原 妻 山 伸
秀 和 建 浩 綾 武 志 徹 耕 吾 豊
樹 勉 宏 誠 一 亨 一 亨

(月形町農民連盟)

委員長
委員長
委員長
委員長

組合長
組合長
組合長
組合長

副組合長(兼)南瓜部会長
副組合長(兼)果菜部会長
会計(兼)トマト部会長

内 永 岡 石 滝 加 小 米 植
藤 井 森 沢 藤 林 松 博
康 宗 尚 志 壱 誠 刚 衡 廣 幸
志 壱 志 壱 刚 衡 廣 幸

(月形ミニトマト生産組合)

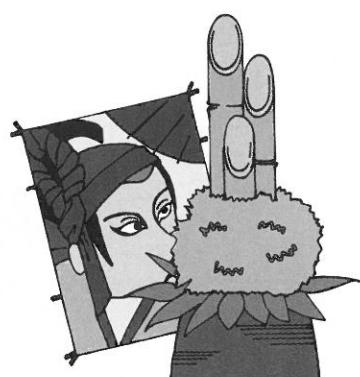
監 會 副 組 部
事 計 組 合
長 長

板 一 坂 橫
井 柳 下 井
道 和 政
雄 彦 彰 美

監 役 會 員 計
事 員 計

内 永 岡 石 滝 加 小 米 植
藤 井 森 沢 藤 林 松 博
康 宗 尚 志 壱 誠 刚 衡 廣 幸
志 壱 志 壱 刚 衡 廣 幸

(月形蔬菜生産組合)



JA月形町末年始営業時間のお知らせ

年	日付		一般業務	共 濟	貯 金		ホクレン給油所	エーコープ
	月	日			窓 口	A T M		
26	12	30	8:30～ 17:15	8:30～ 17:30	9:00～ 16:00	8:45 17:30	8:00～ 17:30	9:00～ 18:30
			年末大掃除		16:00～			
		31	休 業				9:00～ 15:00	
27	1	1	休 業					
		2	休 業				10:00～ 14:00	
		3	休 業		8:00～ 17:30		休 業	
		4	休 業					
		5	休 業	9:00～ 17:00	9:00～ 15:00	8:45～ 17:00	休 業	9:00～ 15:00
		6	8:30～ 17:15	8:45～ 17:30	9:00～ 16:00	8:45～ 17:30	8:00～ 17:30	9:00～ 18:30
		7	8:30～ 17:15	8:30～ 17:30	9:00～ 16:00	8:45～ 17:30	8:00～ 18:00	9:00～ 18:30

1月7日(水)以降全業務平常営業